佛装甲

總理大臣侍立の下に孫民生総理大臣侍立の下に孫民生紀濟部、張司法部各大臣は三十日午前十一時宮内府に武國務務總理、孫民生部、韓張國務總理、孫民生部、韓

二相政務奏上

部、韓經濟部、張司法部大

六、それら、相前という。

體二百を遣して潰瘍した、更にまた武寧地區のわが軍は十八日午前署溪東方州や阜附近彷徨中の百四十一師の敗敵兵二百を捕捉潰亂せしめた、更に崇陽地區に於て十七日崇楊西方六キロ下港附近に於て百卅三、百卅四兩師の一部よりなる六百を攻撃、敵は率新西北方に進出中のわが一部隊は十八日午後奉新を距ろ十キロ附近の無名部落に集結中の敵新編第卅九師の五百を急襲包圍した。池田、佐藤各部隊は十七日に討續き十八日朝來奉新周邊地區より潰亂する敵を追擊中にして十八日正午奉新南方九キョの高地、池田、佐藤各部隊は十七日に討續き十八日朝來奉新周邊地區より潰亂する敵を追擊中にして十八日正午奉新南方九キョの高地、東京大大日の一方敗走してゐるが、わが各部隊は十七日より十八日に亘り敗敵追擊戰に移り各所に痛侠な殲滅戰を繰り展げてゐる、即ちわが門り敗走してゐるが、わが各部隊は十七日より十八日に亘り敗敵追擊戰に移り各所に痛侠な殲滅戰を繰り展げてゐる、即ちわが門

【漢日十九日發國通】冬季

田、佐藤各部騒は十七日に引 走してゐるが、わが各部騒は

11章 2章 全3 新號 m = 0 發行所 * * * 新京日日新聞社 新京日日新聞社 水越內之介 榮 忠

馬 扈

によれば重慶政府は最近の 日米、日ヶ陽係調整変渉の 日米、日ヶ陽係調整変渉の 持外相のダルー米大使に對 する長江下流一部封鎖解除 する長江下流一部封鎖解除 があるり、殊に野 があるが、の開始を非常 對米借欵申 込も失敗

月廿二日

1、リ十九日選属が 大英の戦時最高會議は十九 大英の戦時最高會議は十九 大大英の戦時最高會議は十九 大大英の戦時最高會議は十九 大大英の戦時最高會議は十九 第四次英佛會議 (デリ十九日發國通)第四 大英傳戲時最高會議は十九 大英傳戲時最高會議は十九 大大英國側からチェンバレ た、英國側からチェンバレ

加出席、英相、ガムラ

舊正までに實現可能

提携協力に關し協議か行は 政治、經濟各分野における軍事、

往

*米國内には反グ

武藤弘海處長

角快な大戦滅戦を展開

に新通商係約の成立するも展に鑑み將來日米、日ソ開係の優勢遊に日米、日ソ開係の優

興農合作

最近米國經由で歸國した

に氣に病んでゐる重慶外

敵の揚子江遮斷挫折

任ずる伊野部隊で

新合作 山事

購買、利用、共済その他共同 情に即應し社員の要望に基 いて信用、共同販賣、共同

▲田中藤作り シト専務取締り シト専務取締り ホテル 大(商業)同 大(商業)同

は三年鐵

柳猛氏(官吏)旭ホテ

▲ 近藤忠雄氏 (清銀社員) 同

本校川英雄氏 (會社員) 同

本校川英雄氏 (會社員) 同

ホテル

備してるた如き行政機能よりは完全に嫌脱、他く迄農 の共助共廟を限目として 新合作社の育成を興るため 新合作社の育成を興るため 機制的検査、交易、收買、 物資の調辨等は行はしめず 他の機關をして之を行はし める事となる模様でありこ れば從來の合作社運動の一 大修正として各方面より多 大の關心が拂はれてゐる

處置二

を受け経験の少い顧視同磨りなる、即ち敵は前月廿三日で激烈なる職闘を展開して 北上したのでわが軍は直ち州、江西省景徳鎮方面より 中心に大通河口方面におい 九軍がはるか九江、南京方 面を目指して北上したほか 第十六、第六十七の二個師 たりなる第八十六軍をもこ たりなる第八十六軍をもこ たりなる第八十六軍をもこ たりなる第八十六軍をもこ た方通、青陽の線に進出し をもつて携子江を遮斷せん をもつて携子江を遮斷せん をもつて携子江を遮斷せん をもつて携子江を遮斷せん をもつに割しわが航 空部隊は本月初旬以來引續 空部隊に多大の損害を興へた

號で晴れの魔堂をした に蘇々たる武勳を樹てた桑 に蘇々たる武勳を樹てた桑 時十分東京驛清特急かもめ 時十分東京驛清特急かもめ

して組織全合作社及び聯 会會を會員と 製農合作社中央會は合作

各事業部門に對する資金操 事業を行ぶ、經理は各部門

檢查交易

業業務は

別途

に考慮す

野換を遂げた合作社

高り、國家の計畫に即應し 利増進、農事の改良發達を 利増進、農事の改良發達を

【東京國通】政府は十九日

決定事項

四十分東京縣清列車で入京 会工少佐は十九日午後四時 会工少佐は十九日午後四時 長より陸軍省情報部員兼大 長より陸軍省情報部員兼大

中島少佐着京

費 作を行ふ査金ブールを置き 行ふ、なほ新合作社は社員 行ふ、なほ新合作社は社員

シ 號、乗組員抑留 【モンテヴィデオ十八日漫 國通】モンテヴィデオ十八日漫 國通】モンテヴィデオ・ 職補珍職艦グラーフ・シュ 「1號乗組員中四名を同號」

飛行場發空路南京へ向つた 経験通』北支観察任の久 日談殿通』北支観察任の久 日談殿通』北支観察任の久 日談殿通』北支観察任の久 日談殿通道。北支観察任の久 日談殿通道。北支観察任の久 日では十分西郊

▲加藤秀雄氏 十九日哈市

つて
芬蘭軍に邀撃 芬土を空襲

恋電氣消費の合 理化に就て 電業營業部次長!

正歩を進めつゝあり、他方 下端にな世界大戦を招来 送に第二次世界大戦を招来 し、暗澹たる戦雲は歐洲の 巨歩を進めついあり、 亜新秩序の建設は着々其の二ヶ年絵を経て、日本の東 るべく、日満支三國は擧げし、其の圓滿なる運行を圖

電無が家庭に於ける電盤 間熱として或は各種産業に 電熱として或は各種産業に 電熱として、我々 原子の社會生活と密接不離

ついありますことは

ット戦時代は過ぎた 支援の戦ひはつひに空中

す。加之歐洲情勢の急激な る悪化、發電用建設資材の る電源の開設擴充は愈より、 此の結果電力供給の根源に ます。吾々職を電氣事業に ます。吾々職を電氣事業に でき使命の質に重大なる監 でき使命の質に重大なる監 は凡て火力發電に依存する現就であり、従つて前述の電要激権に結果する石炭不足の危惧は、一方に於ける電力需要の飛躍的増加と併行して囲滑なる電力供給を行して囲滑なる電力供給を行して囲滑るることになります。 點すにり困た

明能になっただけだ。 を錦記しよう 変に明朗を加へる をに明朗を加へる をに明朗を加へる

その日く

層強調せられます歳末にあたり弊店は年來の「お買物奉仕第 時局年末の最も健全適切なる物資調達機關こして皆様よりの御信賴を

歲末吳服雜貨實質品豐富 進物用恰好品充滿

お正月用格安品豐富取揃

局荒

3

で豪遊

大工 要表式 大同學院第十一時來をのべたの多字業生代表に對と 「本生業式は世日午前十時半から大講 「本生業式は世日午前十時半から大講 「本業式は世日午前十時半から大講 「日系」

保健協會異動

委細面談 よ

電話②四六二五番 デリル

學習號

學生必讀の

地籍整理局副局長篠原吉本地籍整理局副局長篠原吉本地籍整理局理事官事業科長が残らされた。

日

在庫品

賣り强要せず

本よりの輸入書籍雑誌の

籍會社愈よ明春設立

宝山の商品券

製に動負した五十名

七號佐久間宮江二八3さん と號佐久間宮江二八3さん へ赴き海ケ枝町久田ゼルナ へ赴き海ケ枝町久田ゼルナ

糯米船來る! 阪商船福利丸

部は関東州内で一部は 一スに荷役を開始、編 手石の糯米を満載井四 ースに荷役を開始、糯 を待ち兼ねてゐた市 屋のトラックに積込ま



在し、それを首都の 人口で割出したもの 住ど馬鹿な話つても ではない▼併は併尽 ではない▼けば併尽 定試験を施行を鑑み明年度から 珠算檢定試驗 會では科學の進

一時から新京

開献に臨時組手持無沙汰

善

三龍野正義 (一六) 君は一上版の夢を抱いて昨年九月一上版の夢を抱いて昨年九月一上 「古渡端、奉天市宇治町一上」「てぬたが、本年八月頃突然退祉行方不明となつてゐ

日午前中央通署祭 五十七高地において赤炯討 一後五時間島省延吉 後五時間島省延吉 後五時間島省延吉 (後五時間島省延吉 (後五時間島省延吉 (を多數を鹵獲、わが方貢 食多數を鹵獲、わが方貢 食多數を鹵獲、わが方貢 のままれた。 第二、各計伐除は目下包 関急追中

縣四方台嶺西方約四キロ千十七日午後五時間島省延吉 赤堀部隊討匪行

於西廣場滿鐵社員俱樂部

12月27日午後七時二回

フロ

を願ひ出た

南栗學校に於て行ふが、要 南栗學校に於て行ふが、要 本参加資格條件なし本募 生人員制限なし本出願期 生十二月末日まで中央通 手續所定の願書を中央通



育機關百十を打つて一丸

圖書館協會發會

大體數ケ月後となる模となる模

長 色

館三周年に 國防献金

生部、市公署、協和會、弘 報應、大同學院、建國大學 報應、大同學院、建國大學 であたが愈よ成立の機運に であたが愈よ成立の機運に であたが愈よ成立の機運に がら民生部講堂に於て神吉 次長、陽屋副市長、藤山博 物館副館長以下關係著百餘

市内音野町銀座キネマでは日下開館三周年悪念興行を、行つでぬるが館主渡邊ひささんは、二十日自就を國際に関係百圓を本したのことで直ちに所定の手譲を了した

五時三十分から新京四廣場 尾純利氏を迎へ十八日午前 東西を立てた現満航社員中

犬

大同天街(大興ビル地階)

青葉グリル

謝禮差上げます

右は去る十八日逸走せるに付き左記へ御知らせの方

黑、胸に白線あり、足先四本黄色、

眼色

銀座キネマ開

カナ協和會館で 中尾機長講演會

中三、山寰、泰金

講演會を開催することにな ・では、 ・では、

急

明店に付き女中さん四 用月政百圓以上 1年本橋通藤坂宮賃館前

神希望者は至急申込有り度し尚金融の綱相談に應じ 大いピン、住木斯一流カフェー行 大給大夢集

さん四名入

吉田屋旅館別館

ダイヤ

國都職業紹介所

方面との連絡不完全にして する筈であつたが協會の不 統制と準備不充分のため各

新滿新

一券員會

京洲京

開催することとなつた、當日は今日本に於て人氣のことが出來るやうにと市公署、滿映と協同主催で蒙てゐるが本社では更にこれ等の細民に同情资金をおと市公署、社會事業聯合會では例年の如く全市に同議を控いて酷寒と飢餓線に彷徨する瀕民に温かい同

社員 夢集 一社員 夢集 女子受付係 高小蜂業程度 女子受付係 高小蜂業程度 一十歲迄 一十歲迄 一十歲迄

常日は中尾氏の世界一周 ボンの世界各地に於ける ボンの世界各地に於ける スをも上映することにな スをも上映することにな でた、入場無料多数來場 谷次長京城へ 害見舞金携へ

つた「不思議なヴィ

五萬圓、各特殊會社から ・五萬圓、各特殊會社から ・五萬圓、協和會から一萬圓 会計十一萬圓釀出された朝 がそみで京城に向ひ總督府 のぞみで京城に向ひ總督府 内の社會事業協會に滿洲國 を代表してこれを寄託し廿 たれ日のひかりで歸京するこ 聴決長は嚢に政府よ

電話代表番號等左記の今般當組合の電話代表番號を左記の一人表番號 四一一一五一個設別日十二月二十二日開設別日十二月二十二日開設別日十二月二十二日

地籍整理局人事

中居さん數名入用

| 満州國の賞択を語る……星野直樹|| 満州國の資別を語る……星野直樹|| 清州國の經濟界展遷…田中鐵二郎|| 清州國の經濟界展遷…田中鐵二郎|| 一清州國文化問答………小 優 響| 短篇小説「露人少女キッサー満洲國のスタンプ……糸田 發行所新京八島通三二

マンチユリヤ デーリーニウス責任編輯 内容目次の一部

年齢を問はず一番一番 女中さん至急入用

全演唯一の

福昌公司新京支店

マンチュリヤ

茶河人 英週文刊

を窺ひ遂に日の水 幾度か敵機群を確

た、月もなき高い数百名の將士は世

高も執拗に地上掃廉森(飯)上等兵

有様を詳細に物語り或は満 作り或は食事の世話をなす になるして變所を

子政に會府防

の要望に應べる事となつでは は現状を参重して不利益を には現状を参重して不利益を 在のストック品に就いては 定價賣に張要せず、新輸入

周書會社十分の九その他民間書籍商十分の一、出資割合 は十八日の國務院會議に於 は十八日の國務院會議に於 は十八日の國務院會議に於 は十八日の國務院會議に於 は十八日の國務院會議に於 は十八日の國務院會議に於 は十八日の國務院會議に於 は十八日の國務院會議に於 は

たがその犠牲的精

を想ふ食情から日中念佛 での姿は一同自づと頭が での姿は一同自づと頭が

旗組所在搜查

・中財布を手際よく拘取つて 高 新天地、 散築地と満人料理 自白、 目下餘距追及してみ 自白、 目下餘距追及してみ を遊び廻つてゐたことを をが所持金値かに五個餘で

沈勇、大泉大尉の奮鬪

は地上部際機自名の上が をつた、〇月〇日、大泉大 行つた、〇月〇日、大泉大 にはから言つて日々痩せて はから言つて日々痩せて 愛機の火消す

と、 は選にわか〇〇基地に對し、 が対なりを待構へた對突火が、 小判なりを待構へた對突火が、 小判なりを待構へた對突火が、 小判なりを待構へた對突火が、 小判なりを持機へた對突火が、 の表述に対し、 のま述に対し、 のま述にが、 のま述にが、 のま述にが、 のま述にが、 のま述にが、 のま述にが、 のま述にが、 のま述にが、 傷つ

〇〇基地に突如空襲警報 ・ は彼我人り離れての一 空中戦が展開された、試 空中戦が展開されたの一 空中戦が展開されたの一 を中戦が展開されたの一 を中戦が展開されたの一 を中戦が展開されたの一 を中戦が展開された。試 を中域が展開された。試

★順天署 一斤褒丸五〇〇 循環褒數は左の如くである のである

満人は三丘張をし、五斤塩 り配布するが、邦人は原 りまりでは可急的に派掛所

打正 二十日付夕刊第 ・ 電景 では ・ 一面「人事異動」中篠原古 ・ 、 岩田文男剛氏は任鐵道 ・ 大事異動」中篠原吉 ・ 大事とあるも、右 ・ 大事とあるも、右 ・ 大事とあるも、右 ・ 大事とあるも、右 ・ 大事といる。 ・ 大事と、 ・ 大きと、 ・ 大 の今晩の放送

國光リンゴ 獨自の廉價御奉仕がれる鎖南浦極上リンゴの地への御進物に最も喜 國光リンゴ四貫旦(滋料共)八・〇〇 大邱リンゴ川貫見(強料共)六・八〇 ンゴ新京市内(北西)八・八〇

H

銀座キネマ

讀者優待割引券

讀者優待割引券 ろ二十銭引き(但二人一枚限り) 本券持参者に限り八十銭のとこ

一文は九段の櫻花ラ文嗣茶金」

海外映畫短信 クリヴェト聯邦では三年前 チャーリイ・チャッブリ シの「街の灯」と「モダ ソ・タイムス」を買つた では三年前

長谷川一夫、岡護二初額合せの東賓新春映畫龍澤英輔せの東賓新春映畫龍澤英輔でいた。オーブンの三ツト、ロケ、オーブンの三ツト、ロケ、オーブンの三カたが松平家きり込み範囲であたが松平家きり込み範囲であたが松平家きり込み範囲であるたが松平家きり込み範囲である。

かの対がまのあたで、 をかのはしたというで、 実施をあるなど、 はないでである。 はないでである。 はないでである。 はないでである。 はないでである。 ののではないで、 のののではないで、 のののではないで、 のののではないで、 のののではないで、 のののではないで、 ののので、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 ののので、 のののでは、 ののので、 ののので、 ののでは、 のので、 のので、

程これら各スタデオの音樂に離り適任者を相聴して作曲、音樂監督のどれいるが、この 樂家が結束

「ブルダ劇場」「素晴し ・エシド」「美しき寄 ・エンド」「美しき寄 ・エシド」「素しき寄

(日曜木)

「御存知東男」

高大作「大地に吹く」を 完成 「テレビジョン日本」を オール・スターで市内 で がから開始 ・バ土萬里」の後半主要 ・バ土萬里」の後半主要 新映畫社選出の木年度内外

北電影公司

あす創立總會開

は、 であることは富然なことなのであることは富然なことなるのである、第六感などと言ふほどのものである、第六感などと言ふほどのものである、第六感などと言ふほどのものである、第六感などと言ふほどのものであるが、此處でその港町であるが、此處でその港町であるが、此處でその港町であるが、此處でその港町であるが、此處でその港町であるが、此處でその港町であるが、此處であるからもう一方の外ところであった、街の賑かなところであった。街の賑かなところであった。街の賑かなところであった。

が天は自ら助くるものをいが、やが天は自ら助くるものをいが、やがてさらした地域の所在が判つた、それは實に船の着く所から直ぐ近くである。本北は、それでよかったのである。本北は、それでよかったのである。本北は、それでよかったのである。本北は、それでよかったのである。本北は、それでよかったのである。本北は、それでよかったのである。本北は、それでよかったのである。とはこのが並んである。とはこのが並んである、とはこのに射的場などもある▼或るである、ところどころ。

だが天は自ら助くるものを 見當をつけることにした▼ がついてある。こんな所に ちうとは思ひ掛けないところであった、身化處に在る を忘れしむるものがあった を忘れしむるものがあった を忘れしむるものがあった を忘れしむるものがあった であった、身化處に在る が、年は十九、長崎からった が、年は十九、長崎からった を方で、萬壽樓といふ家で で表大人の物語、まのを にはごける所です、側参考 にも成らうが、まる遠 といる話で を成ららがある。 であった。 を対してであるが、その家 で表大人の物語、まのである。 でもだが新京から十数時 でもながってす、側参考 にも成らるが、まる遠

斯うした長い と覗けるくらゐの小さな窓 と覗けるくらゐの小さな窓 めむ。あめつちの。や

かたしの夢 ラリー 別別 パグダツドの太守 直れ グラ 由

¥ 770

ムパルア・ーヨシ・イテーア

カヴァティナ・ラューマルト

サロン・メキシコ アーロン・コープラクトセゲイツキー 指揮 ボー 樂劇「バルジファ アム・テル

前線の要子線山海田 第三番 金 年 イフ 有数 機能 クルベルゲンコ / 指目の仮名 る 動を 報酬者 打

選集等のあした。 選集等のあした。 選集等のあした。 第一次では失機 エンル では大機 エンル では大機 エンル では大機 エンル では大機 エンル では大機 エンル では大機 になる。 では大機 になる。 では大機 になる。 では大機 になる。 では大機 になる。 ではためる。 ではためる 大提供 川田 養雄 古きや字 桃太郎 さきな子桃太郎 平藤灰一市 植木 九 美漁勝一 子子彦 郎 丸 夫 子綾 原市•子美山杉•雄義田川 鄧八 田覇•汪涛鳥豐•子系朝寶 かけあ利由・子妻上歌・大業木楠 め 初 ひ 歌

金藝質なから期

お茶で茶道目 六の店 漫國の土阪本龍馬の變轉 明日本の夜明け 寄せる騒然たる維斯前夜

別間中粗品進呈 物タ タリと調和するてんぐやつねに潑溂と新しき容姿 一日より景品付職 温い共重ね 上品な南部重ね 豊富荷揃 店の防寒履をし 1.00-11C.00 合大賣出 防寒履一色 の優美なお履 し開催

逐金逐品自由 世帶道具加 電圖四八三八

讃全の聞新日朝西東が著作の傷劇生人 劇生人で化畵映の作傑だせさ狂熱を者 れこ!さ白面ごさ決痛ぐ凌に更を一場 々人るゆらあさいしら晴素は

ずまねてれる讃絶らか たれさ作製に下のプッタスの高泉

二十 一日封切魔 八十五錢一 七十錢

鶴志三赤千 丸賀島木田 陸曉雅蘭是 彦子夫子也 生中原鳥晉澤薄 羽羽村田

陽久,健泉之米貞研

い街維納を描くサツシャ名畫の訪れ

た郷愁は、 れは墺太利のは ンゲルが素晴しい都會の哀愁を描く ある と重厚な巨人の襲風を 作の傑作映畵で 曾の舗道の上に、 心せわしきあなた方が ンゼラ・ザロー に包まれた街 一篇を捧げる 出す郷愁と、 あなたの心の中に音もなく 傑 た費方方に ふいい この

獨逸劇壇の

と、雨方にして礼を入れた込むのと、形 勢を 觀るの

が揃つてゐたの 温電子――立派な

古今無比の

名名

錄演

2枚一組

アルバム人

¥5.50

十十万十 十十卅 早 5 大五三八八六五三一 日日日日日日日日 期

太郎召捕の善後策を相談し の浪士と集合して、古高俊 長州の吉田稔麿や、その他

(日曜木)

るやうに云つた。と、き に――といふ古諺もあるし か、一同にはか

と、今まで默つてゐた大 高忠兵衛が、決斷を促すと 一同の眼に去就の色が昏迷 して、氣の早い杉山松助が 新京中央通廿一串地

スカニー二指揮

6,45 7,05 8,25 8,50 10,00 12.00 3.25 12.25 3.45 11.45 5.05 女性行路 双菓山全勝十五日間 2,10 5,30 假面の劍客 十九日より北一日まで 40セン均一

ユの次ん 7.57 8.45 9.35 12.41 4.43 -1.31 5, 35 二の出發 15日より21日迄、料金九十セン均一 豫告廿二日より愛染かつら完決篇

押し点 隊ス

楽劇場 12,00 3,25 6,50 13,25 3,15 7,15 1,50 5,50 8,40 二日間 5 0 セン 市工学 12,00 3,25 19,25 3,15 ニュンス 國際間諜 圏 1,50 5,50

高梧 天郎 利信 謙 武士

賣

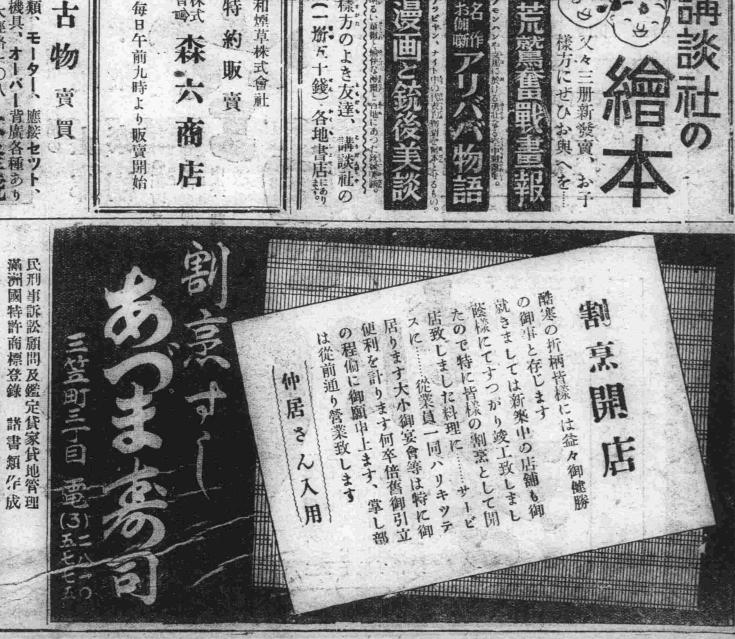


電気機具、オーバー背家具類、モーター、唯家具類、モーター、唯 新京曙町三丁月十八番地 見玉疊商店

大隆を持ちりた。

廣告の御申込は 黑田實法律 新京朝 電・ 日 通 三 十二 否 地 3三三〇〇番へ

紀本 (一断万十銭) 各地書店長の お子様方のよき友達、講談社の 協和煙草株式會社 會政森六商 特約販賣 店





野は、歳三の耳に口を寄せて、もうこの上、會津のせて、もうこの上、會津の一人残らず斬つてしまふことを考へるより、一人残らず斬つてしまふことを考へた方がよいと云っとを考へた方がよいと云っ 眼、言葉、 彦 勇

ではらだとすると、同志の 危機だし、これは、一思ひ に、壬生に斬り込んでー』 で、 望月義澄が口を出し と、望月義澄が口を出し 西川耕職は、 『野老山のは、意志が、肉

であると思つた。 と、眼で答べて、すぐと、眼で答べて、すぐ

與五四三二一士 七六五當 ▲ 月月月月月月月 ★月月月 柳根限限限限 横限限限 大 阪 第二人 1000

况

父は九段の櫻花12,60 3,02 6,04 二十日より廿五日まで 八十銭均一 次週廿六日封切 旅 の 小 船 江戸育ち八洲天狗

1,24 6,02 1,34 6,12 2,50 7,08 4,08 8,56 1,46

はれる、一方廿日の大公報はれる、一方廿日の大公報によれば蔣介石は龍雲を明春元旦を期し開設

の態度を堅持してゐるといいの意味を拒否し中央化反對しれに對し體雲はあくまで蔣

即まで

獨武裝漁船空襲

は日下事件を調査中である

一部が現在のやらに進行しつ、ある限り條約更新前で を開発が失效しやらと を開発が失效しやらと を開発を調べる意見 は有してゐない

村雪 定本 会告 衍纸 印度 50 图 60 行

新京日日新聞社

門病科

一大っとし、特に低 大っとし、特に低 大っとし、特に低 は、 ではない▼速かに順急策と 世ではない▼速かに順急策と 世ではない▼速かに順急策と する内地の利己主義を清了 ではない▼値次策を講ずべきだ▼ して、賃に内地外地で目満一 して、賃に内地外地で目満一 して、費に内地外地で目満一 でも、かれ程逼迫を得へら れ、米の配給を切符制度に れ、米の配給を切符制度に れ、米の配給を切符制度に かるることはしばらく別とし でも、かれ程逼迫を傳へら れ、米の配給を切符制度に は、この食 一つるが料理屋などでは公 白米食が料理屋などでは公 白米食が料理屋などでは公 は、この食

▼白米食は健康の敵である ・ふことを与く理解し實践する。 ・ふことを忘れてはならない ・ふことを忘れてはならない ・ふことを忘れてはならない ・なって、質に民物 ・なって、質に民物

代の迄が此ぶの解消をしい。 での必要をはいい。 でいるのできた。 でいるので、 でいるで、 でいるでいるで、 でいるでいるで、 でいるで、 として、米作に惠まれてのむかしか、、帯類の根本たる米穀政策がのむかしから、瑞類の策が

呪銀問題を再協議

解放に官邊滿足を表明

實際的效果を滅却するが が、しかして日本今回の は明らかで諸種の懸案解 を醸成するに役立つこと を醸成するに役立つこと をであることを なが正常に質値されれ で諸種の懸案解

た 則はこれまで治安部訓令の 内規的なものに過ぎなかつ 内規的なものに過ぎなかつ 大ので、治安部では昨年施 間に伴つて軍の特殊性を診断かねて立案中であつたが この程成案が纏り軍人、軍

世日部令を以て公布した この規則は去月一日軍給 で適用を受けるが施行前 のものの再發は勿論、施 行前療養を行つて未だ費 でではるが施行前 を受けてあない。 を受けてあない。 を受けてあない。 を受けてあない。 を受けてあない。 を受けてあない。 を受けてあない。 を受けてあない。 を受けてあない。

がいて、日間であります。 要性に鑑み物價科ならびに は隱岐貿易科長を鎌密 には橋本人事科長を鎌密 には橋本人事科長を鎌密 には橋本人事科長を鎌密 はとしめること」なりこれ

・企畫處参事官 一歩を踏み出した 人しく兼任のみ多

物價科長に 稲次 義一 橋落科長 稲本 乙次 新京特別市稅務科長 貿易科長・物質科長原物質科長

商事科長に事質總局酒精科長

筆士声 宣士司 期 間



國軍關係者の

療養規則制定

公傷病者に福音

薬を期し選法によっては 温泉療養については別に知 温泉療養については別に知 別を設けて戦傷病兵治療に 別を設けて戦傷病兵治療に

廣東省

通商條約失効するも

直に重大變化なし

米國務省筋の意向

一四日間で敵を包閣殲滅した 勢に對する大討伐戦は僅か

おは凝固視されてある。 おは凝固視されてある。 おは凝固視されてある。 おは凝固視されてある。 おは凝固視されてある。 我京中央通 (新京神社前)

新京稅關技正 村上

II

國務院辭令

ためとみられるためとみられる スターリン書 にモスクワ十九日發國通 にモスクワ十九日發國通 郵政管理局理事 事資總局艦 料科長 等資總局艦 料科長に

軍司令部發長

▲衛藤利夫氏(奉天岡書館 長)二十日來京ヤマトホ 專賣總局酒精科長쉝務

逆調印するばかりになつて マニア通商協定交渉は殆ん マニア通商協定交渉は殆ん

たなつて がいれる 登園

康學本民 東學校長 東學校長 東學校長 東學校長 東京省立哈爾濱第三國民 東學校長 東京省立哈爾濱第三國民 東學校長

ルリン放送所会

事往次 鏡台其他 茶糊水屋 和洋夕/ 應接用口以 称

於いて決して獨占排他

であらう。そして日本は別ったことを明白に知り得たて行つてゐたものではなかに亘つて閉鎖する目的を以たなかにことを明白に知り得たかなか。

ものと見て差支へない 大體各方面に好影響を興へ なものと見て差支へない

日本の眞意解

通商問題協議か

大大阪村、グルー會談におい とって場子江開放に関するの、大野村、グルー會談におい とって場子江開放に関するの、大野村、グルー會談におい とって場子江開放に関するの、大野村、グルー會談におい とって場子江開放に関するの、大野村、グルー會談においがグルー と 大使は去る十五日齢任以来 態度を決定されたき旨を打 さた 大使は去る十五日齢任以来 態度を決定されたき旨を打 さた 大使は去る十五日齢任以来 電した模様である、從つて 保証 大に誠意を表示せられた 米國政府の回訓に基き近く か 場合は米國興論を好轉せ 開かるべき第四次野村、グ が 場合は米國興論を好轉せ 開かるべき第四次野村、グ が 場合は米國興論を好轉せ 開かるべき第四次野村、グ が 場合は米國興論を好轉せ 開かるべき第四次野村、グ が しめ得る可能性がある ルー會談においては 通商條

中支經濟影響甚大 のと期待し得る形勢となつのと期待し得る形勢となつのと期待し得る形勢となつの回訓が果してわが真意を晒し來るか否かは豫斷を許さぬので外務省では米國政府さぬので外務省では米國政府が準備に萬全を頼して之る。

る之に政許表を府

東亞經濟聯盟滿洲本部設立

州本部設立準備 東亞經濟聯盟滿

兩院各派委員に内示

我方、米の動向注視

明確なる中心母胎が判然と

が はで得るものと見られてる が が 対的兩面とも急速に實現が 期待されるに至つた

補助することを決定、満洲 職出その愛展を支援するこ 機出その愛展を支援すること とゝなり東京本部において とゝなり東京本部において

わが軍の間隙縫ひ 共產軍勢力扶植

本昭和十五年度豫算額 經常部 №1、元六 №八、8月 1、元六 ※八、8月 101、1元 ※八、8月 計 1、21八、元 ※八、8月 計 1、21八、元 ※八、8月 計 1、21八、元 ※101、1元1

福帯部 きょくだい

【上海十九日發國通】 敵主 力部隊は冬季攻勢と稱しつ つも各地でわが軍のため駆 滅されてゐるが、揚子江下

自沙

二民主義の理論

で排外的のものであるが民

中一三年と云へば正に聯繫容共 り共産主義と聞ふ表現であって れ、ソ聯に對しては友邦と た、蔣介石のみは西安事變のて れ、ソ聯に對しては友邦と た、蔣介石のみは西安事變ので しては終始國家社會の陽像 五日共産黨と審約を結び、ます。故に民生主義の講演 公意を無視して秘かに容共し、ます。故に民生主義の講演 公意を無視して秘かに容共し、ます。故に民生主義の講演 公意を無視して秘かに容共し、ます。故に民生主義の講演 公意を無視して秘かに容共し、ます。故に民生主義の講演 公意を無視して秘かに容共し、ます。故に民生主義の講演 公意を無視して秘かに容共し、ます。故に民生主義の講演 公意を無視して秘かに容共し、共産主義の錯误を指摘し、一 日蔣介石を除くほかは荀くと 共産主義を信奉し も中國國民黨の忠實なる同 なったる限り一人として永遠

大連株式

各地株式市况

と實際

間 一候であつて黄浦江浚渫事業 なすものである いまり ない これらの事實は支那 離明と相俟つて來るべき年祖 ある、これらの事實は支那 離明と相俟つて來るべき年祖 の再開と下流揚子江開放の

沈中なる旨左の如く發表し、 ・ ア州=十九日發國通」ノ ・ アーデニア州沖で自 ・ アーデニア州沖で自

洲戦線に派遣されるはずで に入つた、同部隊は近く歐 に入った、同部隊は近く歐 十三日漢口を引揚げて下航した同地駐屯の佛隆戦隊約三百五十名は十九日午後等時半當地入港の佛貨物船ャンガン號(三〇〇〇トン)で來巡、タンク二毫と共に 戦線に轉戦赫々の武勳を輝 酒井中將歸還

で暗れの密都入りをした、で暗れの密都入りをした、

廿一日午前宮中へ参内、

早ければ明年 一、黒海の要港オデッサは リーマニアからの青弾距離 トマニアからの青弾距離 サラビアの安全のためベッ 要でありなデッサ、セヴ サラビアの安全のためベッ サラビアの海面が絶對に 一月中

漢口

駐屯佛軍

歐洲戦線へ

去る

【アムステルダム十九日後 風通】十九日アムステルダ ムに達した情報によれば英 國流船シテイ・オブ・ロー ※號は北海においてドイツ 潜水艦の魚雷攻撃をうけ沈 出航ハバナに向つたもので 英船またも撃沈

聯のランア進 ソ聯主力艦撃沈 「ヘルシンキ十九日 愛園 通」フインランド沿岸防備 の砲臺は十九日ソ聯海軍主 力艦オクチブラスカヤ・レ ヴォルウチア號(二三、二 五六噸)を撃沈したといは れる、同艦はソ聯海軍の所 れる、同艦はソ聯海軍の所 れる、同艦はソ聯海軍の所 で、撃沈が事實とすればソ 野海軍にとつては相當の病

八日、十九日、十日の三日 間に亘り海軍出身議員貴衆 阿院各派交渉委員を海相官 邸に招待し昭和十五年度海 軍豫算に關し内示を行つた が、明年度海軍總豫第並に その内譯の主なるものは左 の如くである(單位千圓)

経費増加 二、九二六経費増加 二、九二六

事は劉華の率ゆる翼察挺身 車約一千なることが判明し た、鄧華は從來拒馬河々谷 にありわが空軍の爆撃によ 度豫算

日午後ペルリンからモスク 日午後ペルリンからモスク で折衝中であつた獨ソ經 常局との間に過般來ペルリ ンで折衝中であつた獨ソ經 を開発した同代表はソ聯

代表露都着 九日發國通

願ひ出來ます弊 大好評 又は御買上げ下さい 何卒賣切れとならの内すで課約 店の犠牲的値段に 御家庭 賣切 -5 貫 有南西 店內陳列一際 思 豐 n リン 價. 貮 こ同時に締切り 御早 等 0 上以〇五。七 市 價 御用命を 等 錢〇 上以00.七 品 價 市 等 上以〇丘·六

はその講演の内容でもはその講演の内容でもなった。また

三民主義の特質・ 民権主義は歐米の天賦人 ないのであります。

世界のであります。大に民生主 一 異の「は金體の自由であります、 大賦人權説の主張するとこと の自由ではないのであります。 で、又社會民主々義は經濟 上の音想であるが、民權主 義の目的は全民政治であつて 一 まで換へて言へば民權主 のであります。次に民生主

社会のであるといったのではないのであるといふ意味で、決して民生主義がマルクスの共産主生主義がマルクスの共産主生主義のにないのであります。深た生はこの言葉の直ぐ後にしたのではないのであります。深た生はこの言葉の直ぐ後にしたのではないのであります。深た生はこの言葉の直ぐ後にした必要語の定義位ではつきりたと説明し得られるものでない、民生主義の講義を初めい、民生主義の講義を初めい、民生主義の講義を初めい、民生主義の講義を初めい、民生主義の講義を初めい、民生主義の講義を初めい、民生主義の講義を初めい、民生主義の講義を初めい、民生主義の講義を初めい、民生主義の講義を初めい、民生主義の講義を初めい、民生主義の書と述べては民生主

資本を保護せんとするもので、で此點また完全に異つて居 主義、民權主義、民生主義 は自ら其の特質を有し歐米 の國家主義、社會民主主義 表のであります。新くして は自ら其の特質を有し歐米 の國家主義、社會民主主義

が先生はり 提唱されたか? 提唱されたか? 表である」と言はれ 年に選 を以て目的 を を以て目的 を

またるのかなります。民國十れたのであります。民生主義と対立されたのであります。民生主義は十三年に講演されたものでありますが、惜しい哉その完了なすが、惜しい哉その完了なすが、惜しい哉その完了なすが、情しい哉その完了なすが、情しい哉その完了なすが、情しい哉その完了なすが、情しい哉そのであります。民生主義は十三年に議演されたものであります。民生主義は十三年に議演されたものであります。民國十二年に表示された。民國十二年に表示された。 患するを見られ、

總會に附議今回一線會に附議今回一

主義と闘はんと欲しないも

國民黨が終始三民主義を守

一二章权馬大二十七二八錢 **呼形交換廣**(三)

福に閉會したが、多數に上る被表彰者中には四十三十 の長い年月を終始一貫孜々 をして一つの店に勤務した 変強合の何維賢氏、次いで はインベリアル店に十四年

し正午意義深く盛會れ表彰試並に記念品

國の教育者は

人陸を認識せ上

青少年義勇軍集

た【寫眞

役員の推薦に選擧風景を目下全市各町會ではこれ

面

から見た町會役員改選

の役員改選を目聴にして長、町會長、町會長、町會長、町會長、副町會長等

資本金六千萬

昭和染料設立

工業確立の第一

等にも既に見透しがついて 同社設立が決定する事にな れば原料の供給、技術の監 れば原料の供給、技術の監

職生期切迫と共に

中三月頭より設立準備をすすることを対して本 一二十萬圓贈入 中三月頭より設立準備をすすめてるた満州電極、東海電極三配多では政府の資本金四千 神のでは、東海電極三配多では政府の資金増産に對する。 一十萬圓贈入 中二十萬圓贈入 中二十萬圓贈入 中二十萬四郎 一十萬圓贈入 中二十萬四郎 一十萬四郎 一十萬四郎 一十萬四郎 一十萬四郎 一十百四郎 一十百

東亞

種生学 張迺漁(第二種生)の母は、 (第一種生)王興仁(第一種生)王興仁(第一種生) 又亢徳貴(第一種生)徐四東大英(第三種生)の四部

首 種生)の三君には孫民生部 の大臣から大臣賞が授興され 世 同十一時半閉式した 対して修業證書と 李兆田 市し編富所長から修業生に 大臣をはじめ関係者多數倡

機の根本方針に推動化する 東連聯盟協會では 東連聯盟協會では 東連聯盟 関誌「東連聯盟」 「東連聯盟」 「東連聯盟」 「東連聯盟」 「東連聯盟」 「東連聯盟」 「東連聯盟」 實行運動に乘出す

て近衛慶明が豊茂の 聯盟協會

可能となった結果、從來を 別館となった結果、從來を 別館を 記立と見た新京平 実に組合成立と見た新京平 実に組合成立と は組合成立と

優良店員表彰

ふ西廣場倶で擧行

實現するものとみられ同能

本工場に於て無統制下に生方法の合理化を個の主流では、一面資材不足の現状に即一方法の合理化を個、一面腹質が、一面腹膜では、、親合事業として破珠の特別を行ぶのなどと、親合事業として破珠の特別を行ぶのなどが、、親合事業として破珠の特別を行ぶのなどが、、親合事業として破珠の特別を行ぶのない。 を計畫準備を進めること」 を関づた大體資本金は州萬 は関づた大體資本金は州萬 直接無營下に置く模様であ るが工場地域、生産目標、 るが工場地域、生産目標、 るが工場地域、生産目標、 るが工場地域、生産目標、

協和精神と相反してはる 協和精神と相反してはる 政府は譲場に於ける言論 政府は譲場に於ける言論 正責任をもつて貰ひ度い 現在の警察制度が果して 理が悪して 電(3六

新京西五馬路 入經 口路

9 出他其 入々續物

圆(二百本)

圖(廿五本)

至州 二月 目 月

上日 新京商店經聯合會應店 寫眞機商は 和洋雜貨·菓子 六五四等等等 吳服·蒲團· 聯合大賣出 良料雑貨商は 工月廿一日以 十二月十一日は 多等額面 五拾圓(二十本) 十二月一日より 英等縣面 演百國(十 大等額面 宣百圓(十五本) 特定開始日 関係に分割抽籤券一枚宛御買上高工関係に抽籤券 兵業銀行 本紙に登表致し云する富鑑番號は一月十六日 計·貴金屬 洋服商は 拾五 本の金額は自一

比類なき王道政治の實現、世界に確立、民生の振興、十界に確立、民生の振興、世界に

しいスローガンであつれ等は皆青年満洲図の

るが、大體に於て成功して るが、大體に於て成功して 我々はこの理想の實現に責
である熱意をもつて政府に
一方冷靜なる批判眼をも
でで事態の推移を見守つて
でかねばならぬ、たくまし 新進デヤーナリストが最後 の全貌を論じてあた或る が最近であた或る 東され、その計畫が實際に 立派な計畫が満身傷だらけ 立派な計畫が満身傷だらけ ことを往々競見せられる、 これは政府がある施策を行 といふ自信のない出鏡をす といふ自信のない出鏡をす

新しい立派な獨創的な夢が つて悲しぐなることがある つて悲しぐなることがある

れた今年を回職する日記風れた今年を回職する日記風

カレて努力してゐる、だが居り政府、協和會が一致協 國は協和治政を根幹とする これは確にたくましい建 設の裏をのぞいた鋭い批判

輝かしきもの、裏もみよ!

B

り需要の激増を兼想される。

戦にもみることが出来る。 金熟河代表 旗劇は主として宋、金、梁の駿更を無誠してゐる 質の駿更を無誠してゐる だめ漢民族は必ず勝ち、 一のだといふ概念を民衆に 村長が贈賄、小島副縣長 等拘引さる ▼七月二十三日 熱河省公 署疑獄、省公署元土木科 長山岸貞一外七名梁務上 長山岸貞一外七名梁務上 長山岸貞一外七名梁務上 はたまのだけである を賑はしたものだけである が、その他官吏、特殊會祉 が、その他官吏、特殊會社 事件は枚搴に遑なき有様で 會に於ける各地代表の質問を更に本年度全國聯合協議

な物價高に依つて如何に生 活の脅威を受けてゐるか爲 政ととである、ある満洲國 の溝系某要人が僞はらざる 人は遠慮して曰く「日本 人は遠慮しをら悪いことを 人は遠慮しをら悪いことを 民族のリ

掘出物

を開いる。 を開いる。 を開いる。 を明いる。 をのいる。 をのい。 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのい。 をのい。 をのい。 をのいる。 をのい。 をのいる。 をのい。 をの。 をのい。 をのい。 をのい。 をのい。 をの。 をのい。 をのい。 をのい。

千

小谷

淳

子

東光校寺二

私が一ばんたのしみにし 死んでしまひました。私は、 かなしくてたまりません。 お母様は、朝早くおきて おけ様は、朝早くおきて

で毎日走つてゐるので毎日走つてゐるので

をびませうと思ひました。 私は學校からかへつて、 なと雪だるまをつつくてあ

軍ではこれを採用したマイクを附けて號令が掛けて、これなら士官がマイクを附けて號令が掛け

一萬噸、速力廿六節、備砲十一吋砲六門、五・九吋砲六門、五・九吋砲六門、水雷邊射管(二十一吋)入門、水雷邊射管(二十一吋)入門、水雷邊射管(二十一吋)入門、航續距離一

などを次々に物語ります中 に「特に感心した話は何 か」と聞きますと、多數の 者が殆ど異口同音に述べま す事は、時局にふさはしき

時などは、最早5つと見て 時などは、最早5つと見て おかみさんが、汗になつて おかみさんが、汗になつて 大車の後を押す姿の續いた

生が満洲に訪れて発

なる事質が滿洲の場

たあつて先行く人・

+

現まさて、まだこまかい た。そして、まだこまかい きり見えませんでした。 かつ自に雪がつもつてゐまし と中、もやで學校がはつ と中、もやで學校がはつ と中、もやで學校がはつ と中、もやで學校がはつ と中、もやで學校がはつ と中、もやで學校がはつ と中、もやで學校がはつ と中、もやで學校がはつ とり はいました。

まなくふのて居まれて、まだこまかい

と中、もやで學校がはつい。きり見えませんでした。でんげふのしやたくのえんとつから、ねずみ色のけなりがむくむくと出てゐまた。

私の家は學校の西の方に あります。お家は三人ゐま す。前の庭には、大きな木 が三本あります。みんな葉 でしまひました。時々すり

私と、お父様はあとでおおまるりをします。ごはんをいたょくおまるりをします。お父様にはほとんどしゆつちゃらをはほとんどしゆつちゃらを

も元氣で勉強してゐます。 ました、けれども私達はと ました、けれども私達はと

のです。 ど其の他

た人です。 を実の他海上ビル、康徳會 と其の他海上ビル、康徳會 を実の他海上ビル、康徳會

公園も見玉公園

献立 (哈爾濱)

ないやうな気になり、又 さむいやうな気になり、又 おふとんの中に入りたくな りましたが、妹が大きいこ りましたが、妹が大きいこ

きつと雪がたくさんふつてくらせてないてるました。

ちらの庭は、夏のれいな花が、いろり

夏の間はき

とがまんをしてまつてゐま

電子があり、何時行つて見 を表があり、何時行つて見 でも人がいつばい入つてゐ

(三遊亭金馬) 愛馬進軍(三遊亭金馬) 愛馬進軍(三遊亭金馬) 愛馬進軍(三遊亭金馬) 愛馬進軍(三遊亭金馬) 愛馬進軍(三遊亭金馬) 愛馬進軍(東・新)ニュース、00(東・新)ニュース、10(東・新)ニュース

首府になったところで

茶間に合せ、その中の一次は帯 帶も名古屋で

すぐ着かへるのが本當で、 はまづ宮城を遙拜し家長より 能まづ宮城を遙拜し家長より 能

新装備を誇つた問題のシュ ・フェン軍港に誕生した、 ・フェン軍港に誕生した、 ・フェン軍港に選生した、 ・フェン軍港に選生した、 ・フェン軍港に選生した、 ・フェン軍港に選生した。

松翠を仰いだ感激、或は伊 がいから聞いたのであ がにひれ伏して 大内山の でありますが、或は宮城の廣場

號が生れ更に三四年六月島

であつた、續いて三三年軍に甚大な脅威を感じた

(一) 錦ヶ丘高女校長

たものであるが所も同じ南 提督にちなんで名附けられ

父母の國の人の情の麗しさ さに涙した感激等を始めと して、祖國の自然の美しさ

末な衣に身を包めだ婦人が

其の印象は非常によ

のも何かの因縁であらう

グラーフ・フォン・シュベー

が新潟に於て、そこには粗 が新潟に於て、そこには粗 がいるない。 がいるない。 がいるない。

少女の胸に映じ

すぐ着かへるのが本當で、

たが、シュペー號こそは獨 海軍がペルサイユ條約の桎 橋に挑戦して全ドイツの機 橋に挑戦して全ドイツの機

不能裏、羽縄の裏は全 く不要なものです、羽織は 実なしの一枚もので結構で 裏地の不經濟は勿論、裏が あるために羽織は一層重い ものになります、若しお若 ものになります、若しお若 ものになります、若しお若 ところだけに附げたらよろ

改良すべき不經濟な點が もので

りませんでした、この頃は の挨拶は正式のものではあ のではあり のではあり

和服には少くな

そして改良すべき そして研究してみま

思いざ帶を締めるとなるとそ 在に出ていゝと思ひます も喪服に使へるやうに仕立 て肝腎の前に出ないことがと てゝおけば大變重實です、 あります、そこで帶の模様と てゝおけば大變重實です、 あります、そこで帶の模様

多も多

食中毒

恐ろしい河豚

正月の御馳走注意

めで、内臓や血液をとつた り洗滌の不完全な河豚肉を 食べたために起る中毒です 放に素人の手料理は絶對に かけては料理店、菓子店、

湯で洗ひます

元旦の初詣や年頭の脱儀は 物見遊山や通り一べんのお 際と遠ひ緊張した氣持ち でなすべきです。初詣はさ でなすべきです。初詣はさ でなずべきです。初詣はさ 年始廻や初詣 氣持で過したい! 飽く迄も緊張した

名附の提督追つて 南米の海底へ

を一萬噸以下と制限した聯を一萬噸以下と制限した聯を一萬噸の制限内でかてして一萬噸の制限内でか 更ながら驚歎し、ドイツ の海

前で裸體になることなどで立派なものな

必ず錢

鎖網に突進、逐に港外五浬

手洗ひは桶杓を直接口がい」でせう。お賽銭がい」でせう。お賽銭がい」でせら。お賽銭を洗つてから紙に包んであげるべく紙に包んであげるです。 万木大將は

てゐたドイツ袖珍戰艦グラ.

長橋神長襦袢は友禪

事前でも構ひません。外養は勿論とつて拜みます。らは勿論とつて拜みます。らにせず洗つた手でうがひす

く貯蔵されがちになります。 かけたものを口にすることがあります、こんなことで中毒を起すのですから比較的長く置く必要のある食物的長く置く必要のある食物は充分に熱を加へておくことが大切です、年々の中毒者は約二萬人から出してゐますが、そのりち毒殺のや

量の洗髪料を使つて

よりも二回洗ふときれい がにきつてこれも 鹽もみをかけます、

した事は「旅行中に に私の更に興味をお に私の更に興味をお 鳥賊も織に国

甲斐しく立働いて居られる 明斐しく立働いて居られる 婦人會の大集團が風の吹き 通すプラットホームの夕暮 に遺骨を迎へて居られる、 北九州の原野では、至る處 異口同音に答へました時に、電 て、屢々見られた

華やかな衣の裾を存 華やかな衣の裾を存 ぶし、働く者をしり あくどい化粧に顔を 局の風が吹くと云つ た事であります。 態度に就いての公 時、將兵の看護慰問に身を一終に彼のノモンハン事件當 ふの

へ、**コロ** (新京) ニュース 八、**ロロ** (大連) 中等滿洲 新講座 幸 勉 (レコード) 管絃樂、一 (レコード) 管絃樂、一 (レコード) 管絃樂、一 はイッヘンパック作曲。 て、三O(新京) 建國體操 建國體操

番組

一十一日(木曜日) 新京放送局)

王月

五、二〇(奉天)ニュース 演纂「鮮語」

京無線 藤久男) ・ ないピア)白 ・ ないピア)白

九、〇〇 (新京) 九、〇〇 (新京) 九、〇〇 (東京) 九、〇〇 (東京) 中間「米の話」 中間「米の話」 「本の、一〇 (新京) 「本の、一〇 (新京) 「本の、一〇 (新京) 「本の、一〇 (新京)







た昔のものム方が氣構へから申しまして數等上なわけです。なほ家長は紋付に衿を着けますがこれも前記のやうに職分や身分に應じてのことです。しかしシワだらけの着物で應對にでるならけの着物で應對にでるな 上手な洗髪法 れたしも家庭に

も毛髪も乾きますか も澤山使へばよくさ も澤山使へばよくさ 使へばよく落ちるだ し、埃や塞氣で頭皮 も乾きますから、洗 も乾きますから、洗 とです。又洗髪料 ことです。又洗髪料 ゆすぎ水に油は禁物 5 げて居る姿に接して、彼女院 流洲に於て聞いた以上に空働いて居り、 歴

○──よく、艶を失はず、 しつとりと洗上るやらにと しつとりと洗上るやらにと じみさせ、温度を持ちすぎ ますから、却つて毛のため によくありません。洗つた をつけるやらにする事です も澤山使へばよく落ちるだらうと思つて定量以上に用らうと思つて定量以上に用めても、毛を赤くし、フケを出すばかりで何にもなりを出すばかりで何にもなりません。回数は月に二回ぐ 等がいたくその胸を打たれ げられる姿に接しては腰々げて居る姿に接して、彼女 殆ど寧日もなく、時局に捧漪洲に於て聞いた以上に捧 長品の製作調達に至る迄、 を使 季節料理※

を作つて見ませう、は で五分に切り、まを五分に切り、ま 大根とその茎、鳥賊など たものを使へばもつ

0

0

0

食料品店などでも食品が長

大根は纖にきつ ◆……別に粕三百匁に對 ◆……別に粕三百匁に對

を耳にするのであります。 は且不急の品の買溜めに血 限になられる男性がある事

1

即日賣切れ

豫約申込み

お

空前の

へばもつと郷土

ル巡 橿原神宮、 宮、靖國神社、 間溫泉、長野善光寺、

國威宣揚 武運長久

天神宮暦原神宮 汽汽團日出 船車費數發

百四十五圓

京都、桃山御陵伏見荷稻、

電話(三)三五一一番

振東京 一・ 八〇田

によつては捨身の大館さか。 ある私だつた。 五人の先輩は 五人の先輩は といつてゐた。日本人 のほんたうの性格だよ。」 といつてゐた。五人の先輩はは、チチハルには珍しい純は、チチハルには珍しい純は純情であるといつてゐる。 は純情であるといつてゐる。他は純情であるといつてゐる人間や、他は正直者だといってゐる人間や、他は社會なが、他は社會なが、他は社會なが、他は社會なが、他は社會なが、他は社會なが、他は社會なが、他は一方である人間や、他は一方である人間や、他は一方である人間や、他は一方である人間や、他は一方である人間や、他は一方であるといって

一度後は何者か、私とは 一度道ばたで立話をして みただけのものだ。気持は何者か、私とは でてこなかつた。をしてものではあっただけが感じてあるの がもはつきりと判らないしない気持だつた。気持は好さない気持だつた。気持は好さでこなかった。彼の妻からら他の方に神經を向けてはないかどちらかであつた。して行つた。私の神經はないなかであるが、狂ひだして仕舞るかというが、ないではあった。私はきつけて仕舞るからないである。私はきつた。私はきつばはないなかであった。私はきつばはないながであった。私はきつばはないないであった。私はきつばはないないである。私はきつばはないないであった。私はきつばはないないであった。私はきつばはないないであった。私はきつばはないないないであった。私はきつばはないないないないない。

北京

1;

いいい

すると、不

グリルの雨よ。 器に酸む。 海港の瞳の好え

空に孤獨の星。※

·2 %

空虚。

灯のながれ。瞪台。

3

「美緒子さん。しかし僕は

屋を開けた瞬間、蒼さめた秋本の額が、大きく映つ て、跟めくやりに美緒子は 立すくんだ。みる (一大き 立すくんだ。みる (一大き

まつて屋を閉めて、そろをに入つた美緒子は、 それつきり、何時迄本默って居る。石のやうに固く 立つて居る。石のやうに固く 立つて居る。台で、振返ら ちともしないのだ。 秋本は堪らなくなつた。 「ねえ、美緒子さん」 な被の眸と、上げた彼女の な彼の幹と、上げた彼女の な彼の幹と、上げた彼女の で言った。 で言った。 で言った。 のたんですけれども…。」 一「僕、留守中に失禮だと思った。 しだった 美緒子は、やつと目をあり しだつた。

しだつた。
しだつた。
しだつた。
しだつた。
しだつた。
しだつた。
しだつた。
しだつた。
にもおえ、秋本さん。私した。そして思ひまつて、何をお詫びしなければいけな。
最方から離れてみようと思いれて、でも、ないて、彼は胸を轟かせた。
「な詫びだなんてー?」
「な詫びだなんてー?」
「な説びだなんてー?」
「な説びだなんてー?」
「な説びだなんてー?」
「な説びだなんてー?」
「な説びだなんです。それが、はいる人間がやないんです。
「ないんです。それが、結局、私は人を愛す事は出いくですの。
ですの」
「私が、何とも思はずに数 ぎ、揺れて居る炎や、何時ですのよっ人間できならんです。それが、場方の手紙や言葉よりではないくと思ったのです。それが、場方の手紙や言葉よりないと思つたのです。それが、おの間にか翳つて居る山を見かいと思つたのです。それが、おの間にか翳つて居る山を見かいしいと思つたのです。それが、おの間にかいなった。
いいと思ったから、おの間にかいなった。
いいと思ったのです。それが、は、本ですのよ。人間の愛よりないたのです。それが、おの間にか翳つて居る山を見かいいと思った。と思った。といんですの方が、よいの間にかいない。
いいと思ったのです。それが、おの間にかいないない。
ないいと思ったのです。
いいたもお節介はしまいと思ひまりない。
はいれて、一般でする人間がない。
ないたもお詫びしないた。
はいれて、後にもそして思ひまいた。
ないれて、後にもといんです。
いいたもおにはいくないんです。
ないれて、後にはいくなるんです。
いいと思ったのです。
ないまれて居ると、一たの間にかいる。
ないまれて居ると、一たの間にかいまれて居る炎や、何時をないいと思った。
これが、はまれて居ると、一たの間にかいまれている。
ないまれている。

「他に誰が好きだとか言ふ なんですわ。もし、結婚式 なんですわ。もし、結婚式 を擧げるのでも、すぐ途中

皮屬淡尿 性病

醫學博士市橋貞三

神 私であつた。五十圓といふ 大金を詐欺漢に奪はれたの は極く最近のことで、五人 の先輩を逃げかくれしなけ た私だ、私は眞人間でなか つたのだ。

箱

男

例の詐欺漢は私のよ

後は言

(日 曜 本)

立設はこのことだけではなかった。
「二三日の間でいい、五十個ほど融通して貰へないだ

はないできないだららか、さらして して戴くと真に好都合だけ との。」

しい観線に、はつと狼して、氣の毒な位に萎

概ひです。詰らないでなさらないで…… んか、起す必要ないで……

障つてくる。権力を肩にひつけて何かを命令する時には躊躇することなく、無論 熟考や判斷なぞに觸れることなく、無論 私の雨腕には物凄い力がある悪魔に授つた力であるか も知れない。「暴力」といふも知れない。「暴力」といふも知れない。「暴力」といふも知れない。「暴力」といふも知れない。「最力」といふも知れない。「最力」といふも知れない。といふも知れない。といふも知れない。といふも知ららった。

話せば蛇度解る事だと云 心持が、みる(「頼りなく 心持が、みる(「頼りなく 心持が、みる」(頼りなく し、彼はそれでも希望は捨

• 大利 根 H

おくさういつて私の家にはなるないである。不思いないである私だ。この限を持つてある私だ。この

俺は船 船 乘 1 唄



電話②二七九二番與安大路四一三號地 大松號支店



矯正に の強化を置らなくてはなりません。今からエビオス錠を連用して胃腸機能 きな導因となって居る を充分に消化吸收してその血肉化を圖るからです。食然と便通を早く常態に戻します。食物、集積物で弛んだ胃と腸の機能を自力的に更生强化、食物、食物、食物、食物、食物、食物、食物、食物、食物、食物、食物、食物、 な いつもエビオス錠が選れるわけです。 日本人の體位低下に大 常態 れる のも 関連変ンオニュ・ロボッテ・ヒ 酒麥本日大 22 社會式株

海鳥ねむる。

涙ぐんでゐる。

類。冴え冴えとくちづけて海の静謐。桃色に映す白い

*

審 である。 あいむかしの夢。 貧

あるすし※

い愛の婆

やりと手をに

白き海港

ニヒルの海。 ※ ※

碧い※

波ばかし

げ追ふ。

られ夢の

か

EB SUIT

西谷正夫 リラの花とほ

「それに僕は、あの人を一、 すも愛してなんかゐない。 いや、今、到底、他のどん な人でも、愛せつこないん 嫉妬心を感じるものぢゃな んです。こんな時、女つて してそれから暫く默つ居む

はは流いてゐる。彼は苦しんでゐる。彼は流いてゐる。彼は苦しんでゐる。彼は苦しんでゐる。彼は苦しんでゐる。彼は苦しんでゐる。彼は失望してゐる。私は勢働者だ。だが彼はそれた。若用立てした私である。私で五十圓の金子を用立てした私である。本でまかつた。結局は、妻を頼し、五人の先輩を傷る

んだと私には繪に描いた様にはつきりと解る。しかし 私は十分間と經たないらち に彼の要望を「OK」で承 能しなければならなかつた 彼は泣いてゐる。彼は苦しんでゐ る。彼は失望してゐる。私 を は、精神だけでなしに教 を は、精神だけでなしに教 とでも異常では、からした を なる自分自身をものになるのは を は、精神だけでなしに教ひ を は、精神だけでなしに教し を は、精神だけでなしに教ひ を は、精神だけでなしに教ひ を は、精神だけでなしに教ひ を は、精神だけでなしに教し と は、精神だけでなしに教 と は、精神だけでなしに教 と は、精神だけでなしにある。 と は、精神だけでなしにある。 と は、精神だけでなしにある。 と は、 は と し な と か も 知 れ な い 。 と は い ま か け て る る の は と は と か ら し た と か も 知 れ な い 。 と ら み て も 仮 人 た ち を 輕 茂 す い 。 と は 、 精神だけでな し に 内 と 世 に な る の で は あ る ま い か 、 し と ら み で は あ る ま い か 、 。 と ら み て も 仮 人 に と を 軽 で よ り 悪 歳 の で は あ る ま い か 、 。 と ら み て も 仮 人 に と を 軽 で よ り 悪 歳 の で は あ る ま い か 、 。 と ら み て も の で は あ る ま い か 、 。

殘

築地 菊 明 物

町

名 月 赤

黄 晋

女の愛情の散步である。
青空がある。
青い花がある 負責へ呼吸ひそめ 0

な姑 娘

店商衞兵五邊田 社會式排

本部

守 田等 月下。步哨線

里

記 体作す目がに 時 勿知時。を、ど本形 総の中の環体ッ人と のな 膨はよ タの こいやしい り 飲

との副でなが合う質が なか確目効

りあに店業

險保命生本利有實確礎の距興

面會原施達面機需能過代手









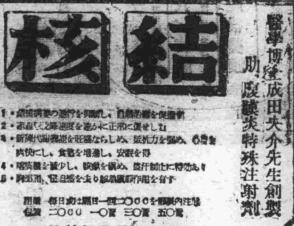












・胡波涛更の進行を列配し、自然治療を促進的 2・赤和八之時速度を進かれ正常に復せしな 3・新陳代副義認を旺盛ならしめ、抵抗力を強め、6号を 族的にし、食物を増進し、安慰を得 4・密茨機を減少し、映像を調め、佐肝制作に特効あり 日・胸田南、区自悠を決り起熱観測作用を有す

開業 毎日的は期日-四二〇002年間終内注意 位数 二〇00 -〇日 三〇首 五〇覧 植村製器所 咖啡菜

I

京

五

現 力を機嫌を を根本から は本から



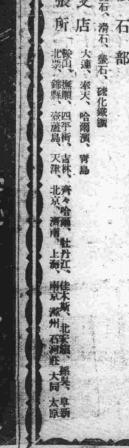
新京名 墨(3)



使 振替口座

40







新

港其他一般土木工事施工精為

ジ語具、金庫、宣王ストーブ、ワイヤーローブ、マニラ 語具、金庫、宣王ストーブ、ワイヤーローブ、マニラ

奉天铁克



ギツ コーマン醤油の姉妹品

空路も叉超満

製綿配聯總會

澁谷新治安部次長着任

清洲國は数二三年の間に 教へて貰つて勉强したい 教へで貰つて勉强したい した次第だ、治安部は自なので自紙のまとで着な

總服役制委員會

日は、前日同様中央法衛正日は、前日同様中央法衛正日は、前日同様中央法衛正會、先づ中村檢察官の「委會、先づ中村檢察官の「交會、先づ中村檢察官の「交會、先づ中村檢察官の「要記官の「書記課事務に闘する希望」があつて午前の部を終り妻食休憩、午後一時を終り妻食休憩、午後一時を終り妻食休憩、午後一時を終り妻食休憩、午後一時 司法警察官會議

も第一線外動を務に服する る人員は左の通りである ▼順天(三名)▼中央通 (六名)▼四通省(一名) ▼展通路(一名) ▼寛城 子(一名) ▼南東通

新京唯一「松竹梅」場登

多少に拘らず配達致します 松竹梅及生花大賣出

が記者は至急申込有り度し尚金融の飼相談に順じ のルピン、佳木斯一流カラエー行 ・ 大夢集 吉野町二丁目(金泰前)

電話③三二七二番





年齢を問はず田一四の三 女中で心至急入用 國都職業紹介所 業紹介所 作

常嚴守迅速正確 常嚴守迅速正確

與亞鑛業事務所 新京東一條/巡四八

丸重洋行支店 新京富士町四丁目ノ四 電話③ 六一四六番 一二六七一四六番 引越荷造業 諸手續交渉を代行す

宣德達情分科會

機能は次の

保統制問題

桑折少將歸任

本選技方法 ・ 正を期することである。 ・ では大力法 ・ では大力法 ・ では大力法 ・ では大力法 ・ では、大型者の選抜さいでは、大型者のとする。 ・ では、大型者の選抜さいでは、大型者の選抜は出 ・ では、大型者の選抜は出 ・ では、大型者の選抜は出 ・ では、大型者の選抜は出 ・ では、大型者の選抜は出 ・ では、大型者の選抜は出 ・ できやできる。 ・ できる。 ・ で

職滿の途次急逝した滿洲電電會社取締役理事西田猪之電會社取締役理事西田猪之輔氏の遺骨は二十一日午後輔氏の遺骨は二十一日午後 常京、二十二日午後二時から電々本社で盛大な社群が

故西田理事遺骨

職にも拘らずいさゝかの疲出席の司法警察官連日の會

満の意見一致

愈よ明春より實施

指。 対 と 去る十月、 七 去る十月、 単等校教員 備試験検定業

巾整備委員會に新乳



伊武官、治安部 新任イタリー公 首脳者を招待 に出日午後七時 が現底を副るためのくつろいだ歌談が行は 時散會した の深度を副るためのくつろいだ歌談が行は 時散會した の深度を副るためのくつろいだ歌談が行は の深度を副るためのくつろいだ歌談が行は の深度を副るためのくつろいだ歌談が行は

村計講平君結婚

の判決言渡しは來春一月十 (二三)にかゝる殺人事件 (二三)にかゝる殺人事件

果樹園を設置

區に

てきた世界的長距離ラン

市公署で立案中

果樹園をも設けるべく立案

桑田警長慘殺犯 判決言渡し延期

洲色濃や

か

な

珍ら

L

い品を

皆

樣

12

喜ば

れる滿

豊富取

揃

て

居

b

ŧ

す

宗子と無温

西口は妹の美代子と、同 西口は妹の美代子と、同 西は妹の美代子と、同

電

賦

眅

賣

四四一四回金 四四回金 八八十後 八八十後

たのは、何時 たのは、何時 たのは、何時 はいい! と思っ の心に、大きい艦 でせる事件が起つ ではな事件が起つ

配金及話電 高價 密秘明長・時即融金 入 るま・用信も最は酸相油の影響 入

番四九六二(2)話電

西口はあふれん 三友社

五五五〇話電

タイプ印書の開席・代書を書き、二四人士

町時代の町時代の町時代の

鬼百合が花盛りの頃だつた その日、西口は汗みどろ になつて、河底基礎工事の 完成を急いでゐた。

市場內支店市場內支店 ▲中 風 ▲脚 毎年 日本神經痛 ▲助腹炎 清水堂鍼灸院 ▲あんま特設 央通(大阪商船債) ス炎

二笠町三の十二公會堂室

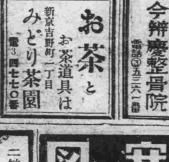
融金工商小中 速 迅 便 輕 社會式株業實省東

電話②一六〇五番

ル児

カメラ修理 ・乾寫真機店 お

(日曜木)





店盟加合組入確京新 菓製洋和

長峰

春

要や中女給事務員ボーイ其他 要イヤ特海ケ枝町楠海とル がイヤ特海ケ枝町楠海とル

滿鉄病院東正門前

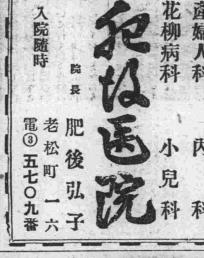
帝事務員ポーィ其他 給事務員ポーィ其他



就町三ヶ九銀ベレス 花環・大村 で、武 一川 一高



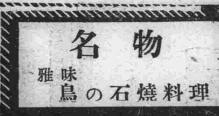


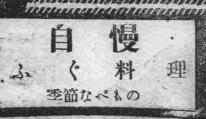


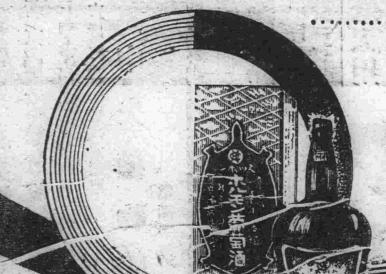


印宴會は三十名様 長春座前 電(3)67:00

帝 電 6016







! 本一の此もにふ貰もにる贈

ンモルホンボツス

一倍の情熱を持つて、西口の離もなかつた。西口 活に、また新しい希望が一つ加はつたことがられしかった。― 背丈がすくすく伸びて、黒い幹を人なつこく光らせたこの女が、鳳珠といふ名であることを知つたのは、その翌日であつた。 白粉花のやらにきはやかん たん粧からも、不自由な言葉の障壁を乗越えて示す態

そんな四日を飛鳥山組にそんな四日を飛鳥山組に投じさせた推進力は、父の旗作にあつた。源作から父として叱られた記憶はすくなくとも彼にはなかつた。(父と俺との問には、確にみぞがある、父が俺を見にみぞがある。) 彼はその日から自分の生

正とは事實だつた。 西口は久しぶりに、人間 から好意ある表情を、見せ つけられて、胸がぎゆつと こみ上げて來るやうに感じ た。

とうしても世間の兄が妹と対するやうな感情だけでといった。(いやしくも兄がかった。(いやしくも兄がかった。)なは養度自分の心をか…)彼は養度自分の心をか…)彼は養度自分の心をかかった。一西口の苦悶はしかつた。一西口の苦悶はしかった。



ポリ 原 本の主義の主義を表示という。 東三條通電3三七〇二番 電の人工日温台 Fシ 自疆結婚媒介部 南廣場南入滿鐵病院東側

斯思の權威

日本タイプライター株式會社

東正四月 東 (中央通修察署前) 中央通修察署前)

大和運輸公司 大和運輸公司 電話3 六九〇八番 明越及建築土木科一般 電話3 六九〇八番

少し御用は専門の當店に限 富士町二・一五 生好堂 電子町二・一五

住友本社新京事 務所電立六九六二

電③五三六

看板 裝

出タイピスト意

號四九路經大京新 番三六一二2話電 酒は松竹梅 松竹梅の

東二條 通三九 地震 通三九

あんま 話 岩見電話店
**美町三ノーノ四
(八島小學校前)
電話3・3137番 金

電の五九八八

制温泉図

劑進增力性 に拶挨御の

社會名合造酒洲滿京新元賣